



「60代6000人の声」アンケート調査結果、第3弾
～移住先、機能性なら100万人以上の都市、
楽しさ・コスト削減なら30万人以上の都市～

合同会社フィンウェル研究所

代表 野尻哲史

2022年3月10日

アンケート調査概要とレポートの特徴

2019年、2021年に続いて2022年も60代をターゲットとしたアンケート調査を実施。全2回の地方都市移住にフォーカスした調査を踏まえて、今回は3大都市圏、100万人以上の都市、30万人以上の都市の3つの区分からそれぞれ2000人強の回答を得て、移住のみならず、現在の居住地での生活の満足度、住んでいる都市の評価などを聞いた。

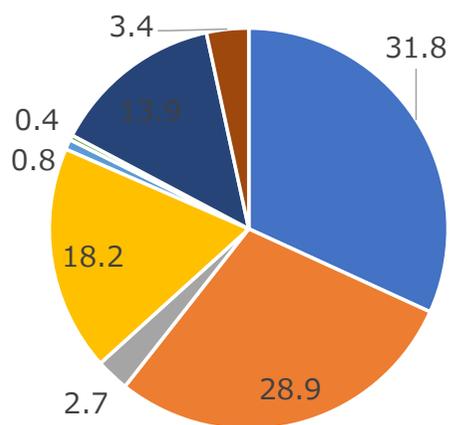
2022年60代6000人アンケート調査概要		
調査実施時期	2022年2月	
調査対象	60-69歳6486人（男性4804人、女性1682人）	
居住地	3大都市圏2131人、100万人以上都市2175人、30万人以上都市2180人	
移住	過去10年以内に移住440人（3大都市から67人、それ以外の都市から373人）	
世帯資産	平均2695.8万円、中央値1001-1500万円	
生活全般に対する満足度（満足5点-不満足1点）	平均3.17点（健康状態3.30点、仕事・やりがい3.20点、人間関係3.51点、資産水準2.80点）	
過去のアンケート調査概要		
調査実施時期	2019年11月	2021年3月
調査対象	60-69歳2128人（男1627人、女501人）	60-69歳2305人（男1646人、女659人）
以前、3大都市に住んでいて現在、地方都市に移住した	306人（男238人、女68人）	269人（男195人、女74人）
現在、3大都市に住んでいて地方都市移住を検討中	536人（男440人、女96人）	179人（男149人、女30人）
現在、3大都市に住んでいて地方都市移住を検討したが諦めた	586人（男456人、女130人）	222人（男177人、女45人）
現在、3大都市に住んでいて地方都市移住を考えたことがない	700人（男493人、女207人）	1635人（男1125人、女510）

アンケート結果のまとめ

- 60代の資産寿命延命策として生活費削減を挙げる人が最も多いが、その柱は食費。食費削減は果たして可能か。地方都市への移住といった包括的なダウンサイジングが求められる。
- 3大都市圏に居住している60代で、移住を検討中、検討したが諦めた人は全体の6人に1人。移住したい都市ランキングでは、変わらず那覇、横浜、京都、札幌が上位を占める。ただ、地方都市への移住の理由には、単なる夢だけではなく、現実的な理由が必要。
- 移住した440人のうち4分の3が移住して良かったと考えている。そのカギは生活費の削減。
- 居住する都市の「退職後に住むとした推奨度」を聞くと、100万人以上都市では医療、公共サービス、交通などの都市機能を、30万人以上都市では生活費の安さ、食べ物、気候を評価。上位は福岡、鹿児島、金沢。
- 生活全般に対する満足度は、都市の推奨度とは必ずしも一致しなかった。満足度上位の高知、宇都宮、和歌山はいずれも推奨度は平均以下だった。
- 満足度がよりパーソナルな評価だとすれば、生活費を削減できる都市を選定し移住そのものを評価し、そのなかで満足度を高める努力をするというのが求められるのではないだろうか。

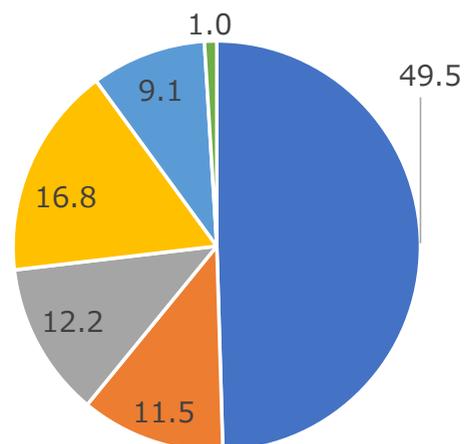
資産寿命の延命策 – 生活費の切り詰めは食費を減らすしかない？！

資産寿命の延命策は何か
N=5399 (単位：%)



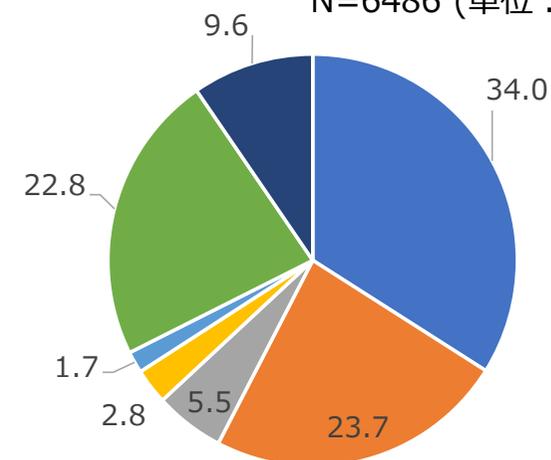
- 生活費を切り詰めて支出を抑える
- 少しでも長く働いて収入を得る
- 少しでも金利の高い金融機関に預け替える
- 持っている資産を株・債券・投資信託などで運用することを考える
- 遺産などを当てにする
- その他
- 金融資産の延命策は特に考えていない
- この中にはない

退職後の生活の最大の支出は何か
N=6486 (単位：%)



- 食費
- 医療費（介護費などを含む）
- 税金、社会保険料
- 家賃・住居費
- 旅行や趣味などの楽しみに使う費用
- その他

生活費削減に貢献する施策は何か
N=6486 (単位：%)



- 食費を切り詰める
- 健康増進を図って将来の医療費を抑える
- 家の住み替え等住居費のダウンサイジング
- 生活費の安い地方都市などに移住する
- その他

(注) 資産寿命の延命策は資産を保有していると回答した人が対象 (出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

60代の移住の実像—3大都市圏では6人に1人が移住を検討

- 3大都市圏居住者の11.2%、238人が移住を検討中。既に諦めた123人を加えると17%が移住を検討している。移住を検討している人の4分の3が、60代の前半。
- 移住してきた人の割合は、100万人以上都市で10.6%(231人)、30万人以上都市で9.6%(209人)。

年齢別の移住の検討状況

(単位：人、%)

現在住んでいる都市		合計		60-64歳		65-69歳	
		回答者数(構成比)	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
全体		6486	100.0%	3752	57.8%	2734	42.2%
3大都市圏	小計	2131(100.0%)	100.0%	1280	60.1%	851	39.9%
	移住を検討中	238 (11.2%)	100.0%	175	73.5%	63	26.5%
	移住を諦めた	123 (5.8%)	100.0%	68	55.3%	55	44.7%
	移住を考えたことがない	1770 (83.1%)	100.0%	1037	58.6%	733	41.4%
100万人以上都市	小計	2175(100.0%)	100.0%	1229	56.5%	946	43.5%
	移住してきた	231 (10.6%)	100.0%	118	51.1%	113	48.9%
	移住していない	1944 (89.4%)	100.0%	1111	57.2%	833	42.8%
30万人以上都市	小計	2180(100.0%)	100.0%	1243	57.0%	937	43.0%
	移住してきた	209 (9.6%)	100.0%	114	54.5%	95	45.5%
	移住していない	1971 (90.4%)	100.0%	1129	57.3%	842	42.7%

(注)移住は過去10年。3大都市は東京・大阪・名古屋、100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30-100万未満都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

移住をする理由 – 検討中は夢があるが、実際には現実的な理由が必要

- 移住をした人も検討している人も3割弱は実家へのUターンが理由。検討している人は3分の1が「住んでみたかった」という夢の実現を願い、実際に移住した人は以前に住んでいたところや生活費を意識している。

移住を検討している理由、移住をした理由

(単位：人、%)

	回答者数	自分または配偶者の実家がある	転勤で過去に住んだことがある	純粋に以前から住んでみたいと思っていたから	生活コストが低下すると想定できたから	コロナ禍の影響から地方での生活の方が良いと考えたから	その他
移住を検討中	238	27.3	7.6	36.6	16.0	8.0	4.6
移住をした人	440	27.5	15.5	14.8	14.3	3.6	24.3

移住したその他の理由

転職等仕事上の都合	24
離婚、結婚、家族構成の変化等	21
自宅購入・相続・実家など	19
自分・家族・親の体調の変化	11
住宅の事情(災害、老朽化など)	11
経済的理由	5
定年など	4
終の棲家として	2
その他	10

(注)移住を検討中の人は、現在3大都市圏に居住して、移住を検討中と回答した人、移住をした人は過去10年間で30万人以上の都市(3大都市を除く)に移住してきた人
(出所)合同会社フィンウェル研究所、60代6000人の声、2022年

移住先—移住検討先として挙がる都市は那覇、横浜、京都、札幌など

- 3大都市圏に居住する60代で、移住を検討している、または検討していた人は361人、16.9%。
- 移住先として検討する都市は、那覇市、横浜市、京都市、札幌市などの定番が多いが、そこで生活費を削減できるだろうか。

60代の移住先候補都市リスト

(単位：人)

2019年			2021年			2022年		
順位	都市名	回答者数	順位	都市名	回答者数	順位	都市名	回答者数
1	那覇	44	1	札幌	19	1	那覇	38
2	札幌	40	2	那覇	16	2	横浜	36
3	京都	34	3	京都	9	3	京都	26
4	仙台	27	4	横浜	8		札幌	26
5	横浜	26	5	松本	8	5	さいたま	17
6	福岡	22	6	仙台	8		長野	17
7	神戸	16	7	福岡	8	7	福岡	13
8	石垣	15	8	堺	7	8	神戸	11
9	安曇野	14	9	神戸	6	9	鹿児島	10
10	松本	14		石垣、長野		10	仙台	9

注)現在、東京・名古屋・大阪に住んでいて移住を検討中、または検討した人(2019年1122人、2021年401人、2022年361人)を対象に、いずれも回答者数で上位10位まで。なお、2022年は具体的な都市名を上げてそこから選択する方法を採用したため、その都市に集中する傾向が強くなった。(出所)合同会社フィンウェル研究所、60代6000人の声、2022年

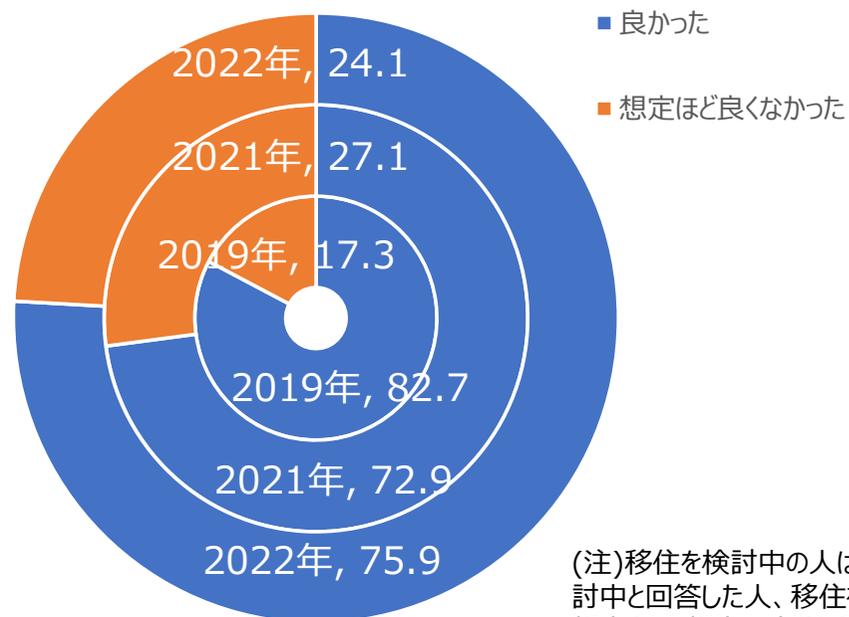
地方都市移住に対する評価 – 移住した人の4分の3が良かったと評価

□ 移住して良かったと評価する人は、過去3回のアンケートで、ほぼ75%前後に達している。

地方都市移住者の移住の評価

(単位：%)

2022年、n=440
2021年、n=269
2019年、n=306



(注)移住を検討中の人は、現在3大都市圏に居住して、移住を検討中と回答した人、移住をした人は過去10年間で30万人以上の都市(3大都市を除く)に移住してきた人
(出所)合同会社フィンウェル研究所、60代6000人の声、2022年

地方都市移住 – 生活費の削減ができるかどうかの評価のカギ

- 移住した440人のうち移住して良かったとする334人の42.8%が生活費の削減を理由に挙げ、思ったほど良くなかったとした106人のうち、42.5%が生活費の削減ができなかったことを理由に挙げた。

現在の居住地	以前の居住地	移住して良かったと評価した理由						思ったほど良くない評価した理由						
		回答者数	生活費の削減が可能になった	新しい趣味などで生活にゆとりができた	新しい人とのネットワークができた	家族・夫婦関係が良かった	その他	回答者数	思ったほど生活コストが下がらなかった	旧来のネットワークが弱くなったこと	却って外出しなくなった	医療が十分に受けられない	仕事が見つからない	その他
移住した人全体(合計440人)		334	42.8	24.6	22.5	20.4	14.7	106	42.5	25.5	26.4	6.6	11.3	11.3
人口100万人以上	3大都市	31	38.7	25.8	19.4	12.9	22.6	11	45.5	36.4	18.2	0.0	18.2	9.1
	人口100万人以上	93	44.1	22.6	17.2	22.6	9.7	25	36.0	24.0	20.0	0.0	16.0	16.0
	人口30万人以上	4	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	上記以外の都市	55	34.5	27.3	29.1	23.6	14.5	11	27.3	36.4	27.3	9.1	18.2	0.0
	小計	183	39.9	25.1	21.3	21.3	13.1	48	37.5	31.3	22.9	2.1	16.7	10.4
人口30万人以上	3大都市	18	50.0	44.4	22.2	16.7	11.1	7	42.9	14.3	57.1	0.0	28.6	0.0
	人口100万人以上	16	37.5	25.0	43.8	31.3	25.0	6	16.7	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0
	人口30万人以上	55	52.7	18.2	16.4	20.0	12.7	24	58.3	12.5	25.0	12.5	4.2	8.3
	上記以外の都市	62	41.9	22.6	25.8	16.1	19.4	21	42.9	28.6	23.8	9.5	4.8	23.8
	小計	151	46.4	23.8	23.8	19.2	16.6	58	46.6	20.7	29.3	10.3	6.9	12.1

(注) 3大都市は東京・大阪・名古屋、100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30-100万未満都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇

(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

住んでいる都市の良い点 – 都市の規模で注目点が「機能」vs「楽しみ」・「生活費削減」に分かれる

□ 良い点の指摘では、年齢、性別に大きな違いはないが、都市の規模では3大都市と100万人以上都市では「機能」に評価ポイントがあり、30万人以上の都市では「楽しみ」と「生活費削減」に比重がある。

60代、自分の住む都市の良い点として挙げるところ

(単位：人、%)

		回答者数	良い点											
			物価が安いこと	食べ物がおいしいこと	家賃・住居費が安いこと	趣味の集まりがたくさんあること	医療体制が意外に充実していること	市役所などの公的サービスが使いやすいこと	交通の便が良いこと	気候が良いこと	海・山など環境が良いこと	大都市にいつでも出かけられる便利などところ	その他	良い点はない
全体		6486	18.5	23.0	14.0	5.3	35.4	23.1	54.4	28.2	20.2	31.5	2.0	6.9
性別	男性	4804	18.4	21.7	15.0	4.6	34.6	22.6	53.1	27.7	20.9	29.2	2.0	7.0
	女性	1682	18.6	26.9	11.1	7.1	37.9	24.4	58.2	29.7	18.0	38.2	2.0	6.6
年齢	60～64歳	3752	19.5	22.7	15.0	4.8	33.1	22.0	53.4	26.5	19.7	30.3	1.9	7.1
	65～69歳	2734	17.0	23.5	12.6	5.9	38.6	24.5	55.8	30.6	20.8	33.2	2.2	6.7
現居住都市	3大都市計	2131	19.8	13.4	14.2	6.3	41.2	29.3	69.9	16.3	6.2	35.2	2.1	6.2
	東京都	1662	18.7	11.9	14.3	6.3	41.2	28.6	69.5	16.5	7.2	38.3	2.3	5.8
	名古屋市	202	18.3	11.9	12.4	6.4	36.6	35.1	65.8	13.9	5.4	20.8	2.0	10.9
	大阪市	267	27.7	24.3	14.6	6.7	44.2	29.2	75.3	16.9	0.7	27.0	1.1	5.2
	人口100万人以上	2175	12.3	22.9	11.0	5.9	38.8	23.8	62.5	28.3	21.7	38.8	2.4	5.7
	人口30万人以上	2180	23.3	32.7	16.8	3.6	26.5	16.3	31.2	39.8	32.3	20.7	1.6	8.8

(注) 網掛けは現在の居住都市で大きく特徴が出ているポイント。100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30万人以上都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

住んでいる都市の課題 – 都市の規模で課題は「生活費削減」と「利便性」で違いが明確に

- 課題では、規模の大きい都市では物価と家賃への懸念が大きく、また自然環境の少なさを指摘する声が多い、30万人以上の都市では逆に交通の便に関する課題が指摘されることが多い。

60代、自分の住む都市の良い点として挙げるところ

(単位：人、%)

	回答者数	課題												
		物価がそれほど安いこと	食べ物が自分たちの年代にあったものが少ないこと	家賃・住居費が意外に高いこと	若者の街という感じが強く、今一つ住みにくいところ	医療体制が十分ではないこと	市役所などの公的サービスが使いやすいくないこと	高齢者にとって交通機関が使いにくいこと	気候が厳しくて高齢者には住みにくいこと	自然環境が少なすぎる	長く生活するには退屈なところ	その他	特に課題はない	
全体	6486	28.1	2.2	20.3	1.8	8.1	7.5	20.9	7.5	8.5	5.8	2.2	33.2	
性別	男性	4804	28.1	2.4	19.5	1.8	8.2	7.5	20.6	7.1	8.7	6.1	2.2	33.0
	女性	1682	27.9	1.7	22.4	1.8	7.9	7.8	21.6	8.4	7.7	5.0	2.3	33.6
年齢	60～64歳	3752	27.8	2.2	21.7	1.8	8.5	7.7	21.4	7.4	8.5	6.2	2.2	31.5
	65～69歳	2734	28.5	2.3	18.3	1.8	7.7	7.4	20.2	7.5	8.5	5.4	2.3	35.5
現居住都市	3大都市計	2131	33.0	2.3	27.4	2.4	8.2	5.5	11.2	3.1	16.4	4.8	1.4	34.1
	東京都	1662	35.4	2.3	28.7	2.2	8.4	5.5	11.3	3.1	15.0	5.2	1.3	32.7
	名古屋市	202	21.8	2.5	15.8	1.5	6.9	2.5	10.4	3.0	13.4	5.9	2.0	47.5
	大阪市	267	26.6	2.6	27.7	4.5	7.9	7.9	10.9	2.6	27.0	1.5	1.1	32.2
	人口100万人以上	2175	30.7	1.9	21.0	1.7	6.3	7.9	13.8	8.9	6.4	4.6	2.7	35.0
人口30万人以上	2180	20.7	2.5	12.6	1.4	9.9	9.2	37.3	10.4	2.8	8.1	2.6	30.5	

(注)網掛けは特徴も出ているポイント。100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30万人以上都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別推奨度と住んでいる都市の良い点 – 都市の「機能」が推奨度に影響か

- 推奨度上位は、福岡、鹿児島、金沢。移住するときに薦める推奨度を0から10で評価した場合のNPSスコア(10点、9点の構成比と6点以下の構成の差)でランキングすると、上位の都市では医療体制、公的サービス、交通の便といった時の機能を居住都市の良い点として挙げる人が多い。

都市の推奨度と居住している都市の良い点の関係

(単位：人、点、%)

現居住地	回答者数	推奨度		物価が安いこと	食べ物おいしいこと	家賃・住居費が安いこと	趣味の集まりがたくさんあること	医療体制が意外に充実していること	市役所などの公的サービスが使いやすいこと	交通の便が良いこと	気候が良いこと	海・山など環境が良いこと	大都市にいつでも出かけられる便利さ	その他
		平均	NPS											
合計	6486	6.14	-46.1	18.5%	23.0%	14.0%	5.3%	35.4%	23.1%	54.4%	28.2%	20.2%	31.5%	2.0%
福岡市	177	6.84	-19.8	18.7%	11.9%	14.3%	6.3%	41.2%	28.6%	69.5%	16.5%	7.2%	38.3%	2.3%
鹿児島市	56	6.70	-25.0	18.3%	11.9%	12.4%	6.4%	36.6%	35.1%	65.8%	13.9%	5.4%	20.8%	2.0%
金沢市	68	6.41	-30.9	27.7%	24.3%	14.6%	6.7%	44.2%	29.2%	75.3%	16.9%	0.7%	27.0%	1.1%
松山市	119	6.68	-31.1	11.3%	42.5%	16.4%	7.4%	45.9%	25.1%	58.3%	20.1%	21.6%	27.7%	0.3%
熊本市	98	6.70	-31.6	10.0%	33.6%	9.3%	5.0%	39.3%	17.9%	51.4%	44.3%	31.4%	40.0%	1.4%
静岡市	227	6.62	-33.0	14.7%	6.4%	10.8%	6.4%	28.9%	27.0%	64.2%	19.6%	2.5%	41.7%	5.9%
仙台市	140	6.51	-34.3	10.8%	9.8%	8.3%	6.0%	39.5%	26.5%	69.5%	27.4%	13.3%	48.9%	2.1%
富山市	65	6.32	-35.4	9.6%	15.4%	5.9%	4.3%	34.6%	20.2%	61.7%	16.5%	11.7%	30.9%	5.9%
那覇市	30	6.73	-36.7	10.1%	18.6%	10.5%	6.3%	40.1%	21.9%	61.2%	40.1%	44.7%	37.6%	1.7%

(注) 網掛けは平均よりも高い数値となったところ。満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ = 10」から「やめた方が良い = 0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。網掛けは平均よりも高い数値のところ。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別推奨度と移住して良いと思った点－物価、家賃、食べ物、気候、環境推奨度は高まらない

都市の推奨度と居住している都市の良い点の関係

(単位：人、点、%)

現居住地	回答者数	推奨度		物価が安いこと	食べ物がおいしいこと	家賃・住居費が安いこと	趣味の集まりがたくさんあること	医療体制が意外に充実していること	市役所などの公的サービスが使いやすいこと	交通の便が良いこと	気候がよいこと	海・山など環境がよいこと	大都市にいつでも出かけられる便利さ	その他
		平均	NPS											
広島市	149	6.46	-36.9	11.4%	22.8%	11.4%	3.4%	28.9%	15.4%	52.3%	47.0%	36.2%	25.5%	4.7%
神戸市	237	6.44	-37.6	26.0%	56.5%	17.5%	6.2%	42.4%	24.3%	61.6%	28.2%	37.3%	39.0%	0.0%
札幌市	379	6.31	-40.1	39.1%	37.7%	24.6%	2.9%	20.3%	20.3%	13.0%	14.5%	26.1%	1.4%	2.9%
宮崎市	47	6.26	-40.4	17.1%	21.1%	21.1%	7.9%	15.8%	18.4%	23.7%	19.7%	22.4%	21.1%	1.3%
高松市	78	6.05	-42.3	38.1%	7.1%	26.2%	2.4%	45.2%	14.3%	4.8%	21.4%	19.0%	19.0%	9.5%
さいたま市	204	6.43	-42.6	17.4%	7.4%	13.0%	5.2%	28.7%	22.6%	49.1%	37.4%	10.4%	37.8%	2.2%
大津市	73	5.95	-43.8	24.2%	50.0%	18.3%	4.2%	29.2%	15.8%	34.2%	9.2%	27.5%	19.2%	0.8%
長野市	164	6.27	-44.5	23.1%	64.6%	30.8%	4.6%	24.6%	16.9%	26.2%	12.3%	46.2%	6.2%	3.1%
大分市	38	6.32	-44.7	22.1%	77.9%	19.1%	4.4%	32.4%	13.2%	35.3%	11.8%	44.1%	11.8%	2.9%
岡山市	136	6.26	-45.6	17.1%	28.7%	15.2%	3.0%	20.7%	16.5%	20.7%	27.4%	56.1%	20.1%	1.2%
横浜市	701	6.11	-45.6	28.2%	20.1%	12.6%	2.3%	32.2%	16.1%	42.0%	23.6%	25.3%	24.7%	1.7%
高知市	57	6.12	-47.4	8.8%	34.4%	9.7%	4.4%	13.2%	11.5%	30.8%	71.8%	40.5%	27.8%	0.4%

(注) 網掛けは平均よりも高い数値となったところ。満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ=10」から「やめた方がよい=0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。網掛けは平均よりも高い数値のところ。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別推奨度と移住して良いと思った点－物価、家賃、食べ物、気候、環境推奨度は高まらない

都市の推奨度と居住している都市の良い点の関係

(単位：人、点、%)

現居住地	回答者数	推奨度		物価が安いこと	食べ物がおいしいこと	家賃・住居費が安いこと	趣味の集まりがたくさんあること	医療体制が意外に充実していること	市役所などの公的サービスが使いやすいこと	交通の便が良いこと	気候がよいこと	海・山など環境がよいこと	大都市にいつでも出かけられる便利さ	その他
		平均	NPS											
前橋市	42	5.98	-47.6	20.5%	13.7%	6.8%	1.4%	19.2%	15.1%	32.9%	26.0%	50.7%	37.0%	1.4%
京都市	188	5.91	-49.5	15.4%	5.5%	15.4%	2.2%	22.0%	9.9%	41.8%	19.8%	11.0%	47.3%	3.3%
東京都	1662	5.92	-51.1	19.7%	23.0%	16.4%	0.0%	21.3%	21.3%	14.8%	60.7%	27.9%	14.8%	0.0%
名古屋市	202	6.13	-51.5	24.3%	28.7%	18.4%	2.2%	38.2%	14.7%	33.1%	65.4%	22.8%	22.1%	2.9%
奈良市	91	6.07	-52.7	26.9%	28.2%	12.8%	2.6%	28.2%	15.4%	25.6%	59.0%	25.6%	6.4%	2.6%
岐阜市	174	6.10	-52.9	42.0%	43.7%	26.9%	4.2%	25.2%	16.0%	21.0%	72.3%	46.2%	7.6%	0.8%
秋田市	69	5.57	-53.6	8.8%	78.9%	17.5%	3.5%	21.1%	12.3%	15.8%	54.4%	64.9%	7.0%	0.0%
大阪市	267	5.99	-55.4	13.1%	37.7%	3.3%	1.6%	23.0%	4.9%	34.4%	37.7%	37.7%	6.6%	0.0%
宇都宮市	76	6.01	-57.9	38.8%	50.0%	24.5%	5.1%	43.9%	28.6%	37.8%	24.5%	28.6%	20.4%	1.0%
千葉市	230	5.62	-62.2	21.1%	60.5%	23.7%	2.6%	39.5%	23.7%	21.1%	55.3%	39.5%	13.2%	0.0%
和歌山市	61	5.87	-62.3	57.4%	48.9%	27.7%	4.3%	19.1%	4.3%	12.8%	74.5%	48.9%	2.1%	0.0%
長崎市	61	5.57	-62.3	32.1%	42.9%	19.6%	3.6%	42.9%	21.4%	44.6%	37.5%	25.0%	8.9%	0.0%
新潟市	120	5.84	-62.5	20.0%	20.0%	13.3%	6.7%	16.7%	13.3%	43.3%	73.3%	23.3%	13.3%	0.0%

(注) 網掛けは平均よりも高い数値となったところ。満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ = 10」から「やめた方がよい = 0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。網掛けは平均よりも高い数値のところ。(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市の規模別満足度、推奨度 – 100万人以上の都市が相対的に高い評価

- 都市の規模別満足度では、3大都市、100万人以上都市、30万人以上都市でそれほど大きな違いはないが、強いて挙げれば、100万人以上都市が相対的に満足度で高くなった。推奨度では3大都市の推奨度が相対的に低くなっている。
- また過去10年の間に移住して生きた人と既存の居住者でみると、30万人都市では移住者の満足度は、100万人以上都市の移住者よりも相対的に低いようだ。

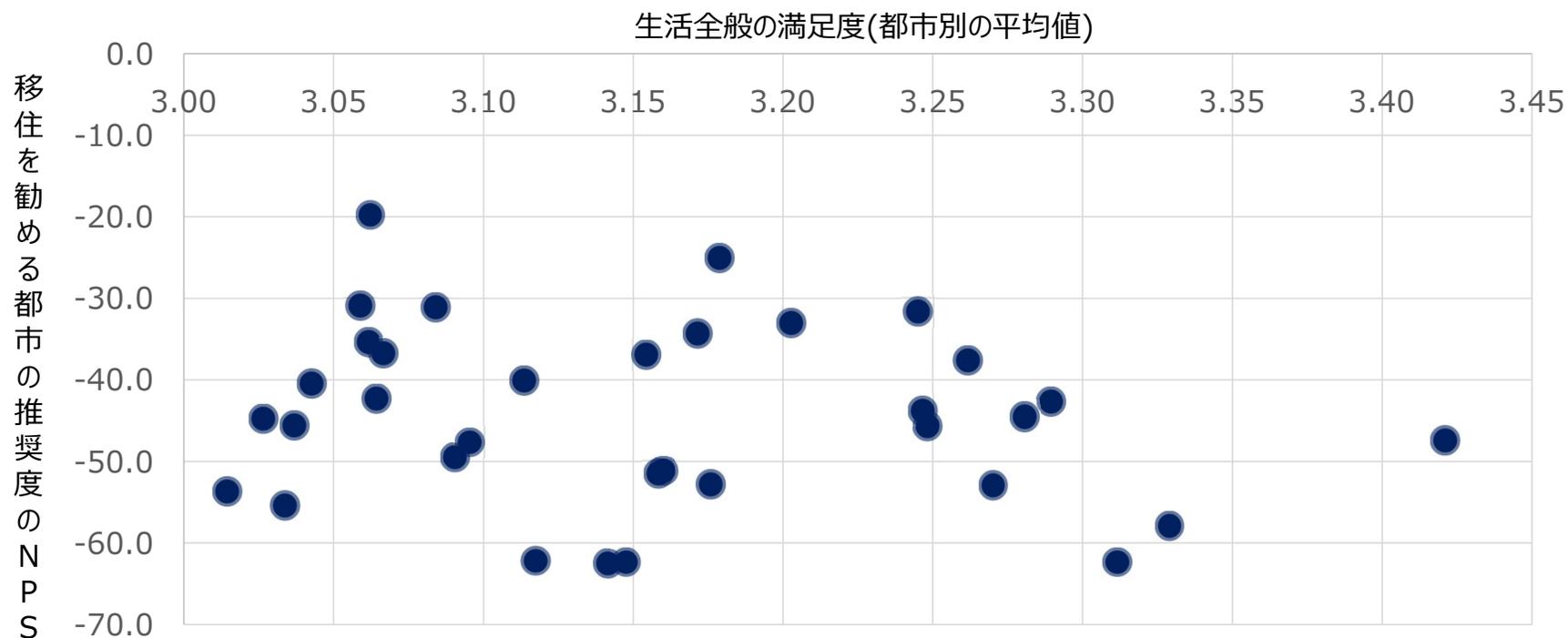
		回答者数	満足度					都市の推奨度		
			生活全般	健康状態	仕事・やりがい	人間関係	資産水準	5つの平均	NPS	平均値
3大都市		2131	3.14	3.32	3.19	3.49	2.82	3.19	-51.8	5.95
100万人以上	合計	2175	3.19	3.29	3.20	3.52	2.78	3.20	-40.5	6.31
	既存居住者	1944	3.19	3.29	3.21	3.53	2.79	3.20	-40.3	6.30
	移住者	231	3.15	3.31	3.06	3.42	2.74	3.14	-41.1	6.41
30万人以上	合計	2180	3.17	3.28	3.21	3.53	2.80	3.19	-46.4	6.17
	既存居住者	1971	3.17	3.29	3.22	3.54	2.79	3.20	-45.8	6.19
	移住者	209	3.12	3.14	3.07	3.43	2.82	3.12	-51.7	5.93
合計		6486	3.17	3.30	3.20	3.51	2.80	3.19	-46.1	6.14

(注)) 網掛けは特徴の出ているポイント。満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ = 10」から「やめた方がよい = 0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。100万人以上都市は札幌、仙台、さいたま、横浜、京都、神戸、広島、福岡、30万人以上都市は秋田、宇都宮、前橋、千葉、新潟、富山、金沢、長野、岐阜、静岡、大津、奈良、和歌山、岡山、高松、松山、高知、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別の生活全般の満足度と移住を勧める推奨度の関係 – 満足度は都市で決まるものではない

- 都市の推奨度と生活している人の満足度に関連は薄い。満足度は個別の生活に依拠する一方で、移住を勧める都市の推奨度は、より客観的に評価していることが関連の薄さとなっているのではないだろうか。

生活全般の満足度と移住を勧める推奨度の関係

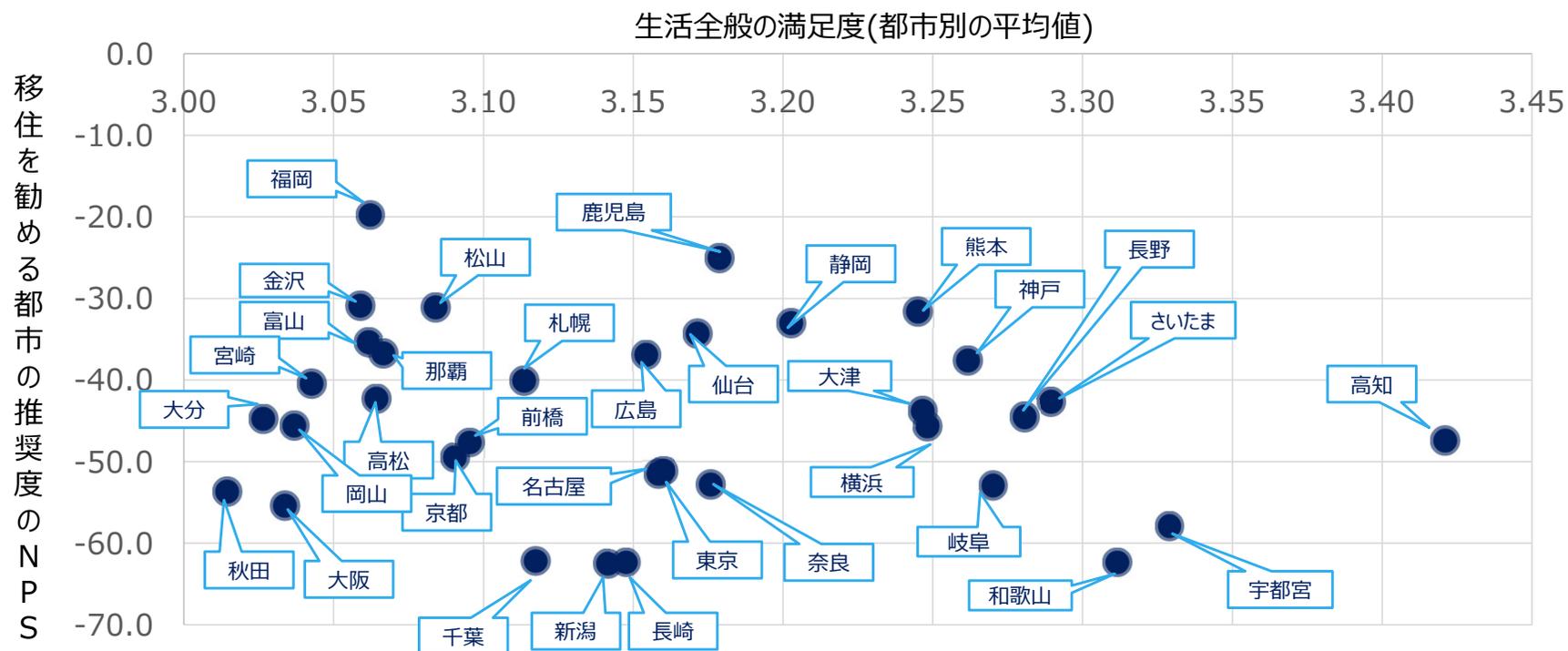


(注)満足度は、「生活全般の満足度」、移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ = 10」から「やめた方がよい = 0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別の移住を勧める推奨度の関係 – 満足度は都市で決まるものではない

- 推奨度が高い都市(マイナスの数値が小さい都市)は、福岡(-19.8)、鹿児島(-25.0)、金沢(-30.9)、松山(-31.1)、熊本(-31.6)、静岡(-33.0)、仙台(-34.3)の順。全体の推奨度は-46.1。

生活全般の満足度と移住を勧める推奨度の関係



(注)満足度は、「生活全般の満足度」、移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ=10」から「やめた方が良い=0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別の満足度ランキング – 熊本は健康、やりがい、人間関係で高い満足度

- 生活全般の満足度では、高知、宇都宮、和歌山。また平均値よりも高い満足度となった都市は13都市。
- 健康状態の満足度では、長野、鹿児島、熊本、大津。

生活全般の満足度の順位	都市名	回答者数	満足度						推奨度	
			生活全般	健康状態	仕事・やりがい	人間関係	資産水準	5つの平均値	平均	NPS
全体		6486	3.17	3.30	3.20	3.51	2.80	3.19	6.14	-46.1
1	高知市	57	3.42	3.16	3.19	3.61	2.89	3.26	6.12	-47.4
2	宇都宮市	76	3.33	3.41	3.34	3.68	3.22	3.40	6.01	-57.9
3	和歌山市	61	3.31	3.33	3.41	3.59	3.05	3.34	5.87	-62.3
4	さいたま市	204	3.29	3.27	3.24	3.58	2.93	3.26	6.43	-42.6
5	長野市	164	3.28	3.53	3.24	3.63	2.84	3.30	6.27	-44.5
6	岐阜市	174	3.27	3.32	3.25	3.58	2.84	3.25	6.10	-52.9
7	神戸市	237	3.26	3.25	3.19	3.52	2.81	3.21	6.44	-37.6
8	横浜市	701	3.25	3.36	3.23	3.53	2.85	3.25	6.11	-45.6
9	大津市	73	3.25	3.40	3.32	3.53	3.01	3.30	5.95	-43.8
10	熊本市	98	3.24	3.41	3.48	3.68	2.81	3.32	6.70	-31.6
11	静岡市	227	3.20	3.33	3.19	3.47	2.81	3.20	6.62	-33.0

(注) 網掛けは全体平均より高いところ。満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ = 10」から「やめた方がよい = 0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。(出所) 「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別の満足度ランキング – 生活全般の満足度では高知、宇都宮、和歌山が高い

- 仕事・やりがいの満足度では、熊本、那覇、和歌山。
- 人間関係の満足度では、宇都宮、熊本、鹿児島。

生活全般の満足度の順位	都市名	回答者数	満足度						推奨度	
			生活全般	健康状態	仕事・やりがい	人間関係	資産水準	5つの平均値	平均	NPS
12	鹿児島市	56	3.18	3.43	3.27	3.68	2.66	3.24	6.70	-25.0
13	奈良市	91	3.18	3.37	3.15	3.49	2.75	3.19	6.07	-52.7
14	仙台市	140	3.17	3.30	3.19	3.56	2.56	3.16	6.51	-34.3
15	東京都	1662	3.16	3.33	3.21	3.50	2.85	3.21	5.92	-51.1
16	名古屋市	202	3.16	3.27	3.09	3.36	2.82	3.14	6.13	-51.5
17	広島市	149	3.15	3.28	3.19	3.54	2.72	3.18	6.46	-36.9
18	長崎市	61	3.15	3.07	3.25	3.52	2.66	3.13	5.57	-62.3
19	新潟市	120	3.14	3.24	3.23	3.59	2.85	3.21	5.84	-62.5
20	千葉市	230	3.12	3.19	3.18	3.42	2.74	3.13	5.62	-62.2
21	札幌市	379	3.11	3.25	3.18	3.49	2.72	3.15	6.31	-40.1
22	前橋市	42	3.10	3.21	3.17	3.45	2.62	3.11	5.98	-47.6
23	京都市	188	3.09	3.17	3.14	3.46	2.73	3.12	5.91	-49.5

(注) 満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ = 10」から「やめた方がよい = 0まで」の11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

都市別の満足度ランキング – 生活全般の満足度は低くても都市の推奨度が高い都市も多い

□ 資産水準の満足度では、宇都宮、和歌山、大津。

生活全般の満足度の順位	都市名	回答者数	満足度						推奨度	
			生活全般	健康状態	仕事・やりがい	人間関係	資産水準	5つの平均値	平均	NPS
24	松山市	119	3.08	3.33	3.10	3.50	2.83	3.17	6.68	-31.1
25	那覇市	30	3.07	3.07	3.43	3.47	2.80	3.17	6.73	-36.7
26	高松市	78	3.06	3.14	3.17	3.45	2.62	3.09	6.05	-42.3
27	福岡市	177	3.06	3.29	3.09	3.49	2.73	3.13	6.84	-19.8
28	富山市	65	3.06	3.11	3.15	3.38	2.74	3.09	6.32	-35.4
29	金沢市	68	3.06	3.16	3.12	3.49	2.74	3.11	6.41	-30.9
30	宮崎市	47	3.04	3.36	3.11	3.57	2.60	3.14	6.26	-40.4
31	岡山市	136	3.04	3.15	3.07	3.46	2.71	3.08	6.26	-45.6
32	大阪市	267	3.03	3.31	3.13	3.49	2.67	3.13	5.99	-55.4
33	大分市	38	3.03	2.95	2.89	3.42	2.58	2.97	6.32	-44.7
34	秋田市	69	3.01	3.09	3.03	3.46	2.67	3.05	5.57	-53.6

(注) 満足度は、5段階評価。移住を勧める推奨度のNPSは、「現在住んでいる都市を退職後の生活先として他人に推奨するか」の設問に、「是非住むべきだ = 10」から「やめた方がよい = 0」までの11段階で評価し、10点と9点の合計比率から、6点以下の合計比率を引いた比率で表示。(出所)「60代6000人の声」、合同会社フィンウェル研究所、2022年

重要事項

- 当該資料は信頼できる情報、データをもとに合同会社フィンウェル研究所が作成しておりますが、正確性・完全性に関して当社が保証するものではありません。
- 当該資料に記載された情報、意見は作成時点のものであり、その後の情勢の変化などによって予告なく変更することがあります。
- いずれの情報、データ、意見は将来の傾向などを保証もしくは示唆するものではありません。
- 当該資料に係る一切の権利は引用部分を除いて弊社に所属し、いかなる目的であれ当該資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断りします。

合同会社フィンウェル研究所